

成果の説明書

(氏名) 齋川 貴嗣	(学部) 経済学部
<p>1 重要事項</p> <p>① 研究</p> <p>➤ 国際連盟研究</p> <p>日中両国の歴史研究者が中心となって編集されている『日中近現代史用語集（仮）』において「国際連盟」の項目を執筆した。同書の日本語版は東京大学出版会、中国語版は社会科学文献出版社から近刊予定である。</p> <p>また、研究分担者として実施してきた科研費研究課題「アジア太平洋における国際連盟—新たな国際連盟史の構築と発信」に関し、研究代表者である篠原初枝教授（早稲田大学）を中心に論文集の出版交渉を続けている。本論文集には拙著”Intellectual Entanglements between the League of Nations and East Asia: Modernism or Anti-modernism?”が載録される予定。</p> <p>➤ 知的協力国際委員会研究</p> <p>知的協力国際委員会（ICIC）設立 100 周年を記念した国際会議への paper proposal が採択された。会議は 2022 年 5 月 12 日から 13 日までスイス・ジュネーブで開催され、オンラインでの参加となる。論文では、ICIC 委員を務めた田中舘愛橘の国際交流観、特にローマ字運動とその中国への影響を検討する予定である。</p> <p>➤ 自然災害の国際文化論的研究</p> <p>2021 年 6 月 28 日に神戸大学国際文化学部で行った講義をもとに、「文化交流からみるアジア共同体」を執筆した。同論文は、地震・津波・台風など自然災害への対処を運命付けられたアジア地域が文化交流を通じて共通意識を生み出す可能性を論じている。同論文を収めた『人の国際移動とアジア共同体』が芦書房より 2022 年度中に出版される予定である。</p> <p>② 教育</p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大により、今年度も海外フィールドワークは中止を余儀なくされた。</p>	
<p>2 その他の事項</p> <p>以下の通り学会活動に従事した。</p> <p>日本国際文化学会常任理事、年報編集委員</p> <p>日本国際政治学会国際交流分科会責任者、分科会責任者連絡会議代表幹事</p>	
<p>3 次年度以降の計画・抱負</p> <p>海外渡航への制約がなくなり次第、ジュネーブ、パリ、台北等での資料調査を再開するとともに、海外フィールドワークを実施したい。</p>	